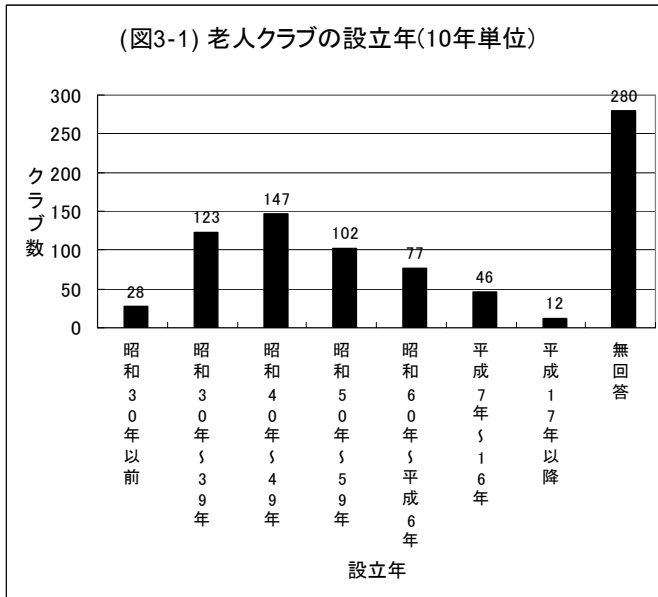


<単位老人クラブの現況調査> V1

(1) 設立年

- 単位老人クラブの設立年は、昭和40年から49年間の147クラブが最多となっている。
- 平成17年から23年までの7年間では12クラブとなっている。

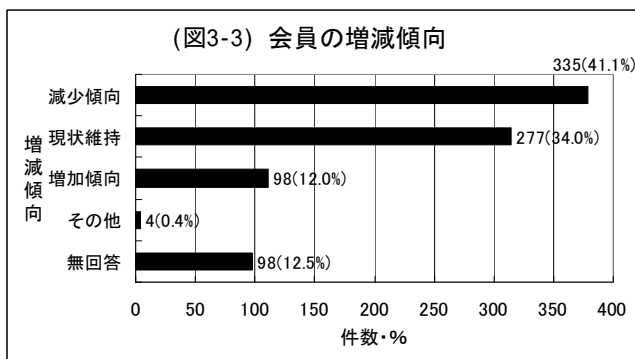
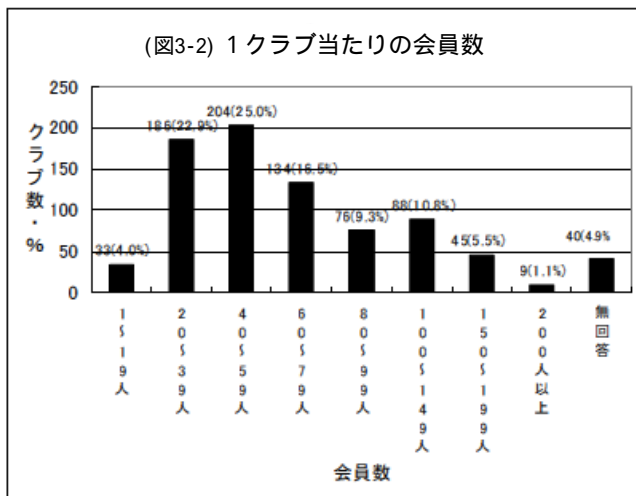


(2) 単位老人クラブの規模

- 調査による1クラブ当たりの平均会員数は65.9人で、これは滋賀県老人クラブ連合会の把握している数(63.0人)と近い。
- 1クラブ当たりの会員数は、40～59人の規模が最も多く、100人以上も17%ほどある。
- 会員が減少傾向にあると答えたクラブは約4割。増加傾向にあると答えたクラブは1割強。
- クラブの規模別で見ると、規模の小さいクラブほど減少傾向にあると答えている。

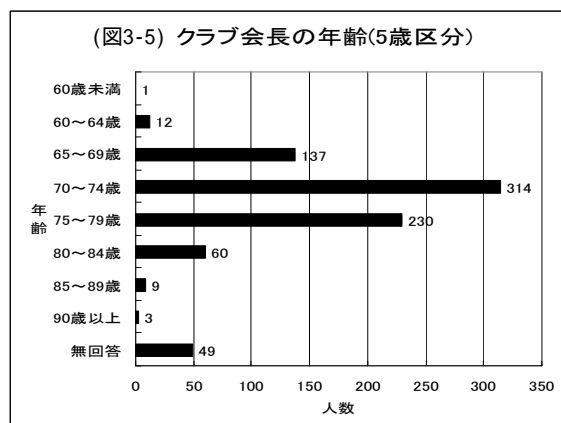
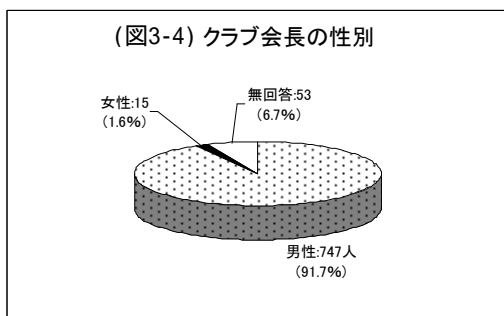
(表3-1) 単位老人クラブ1クラブ当たり会員数

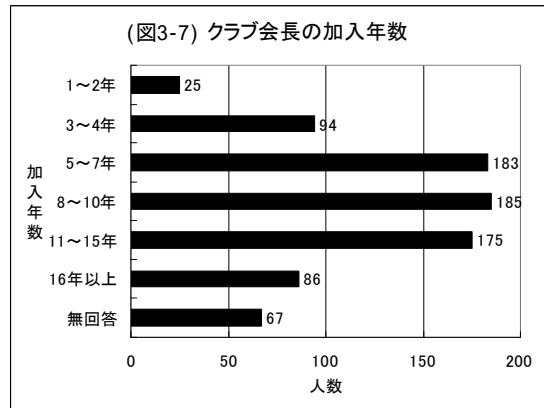
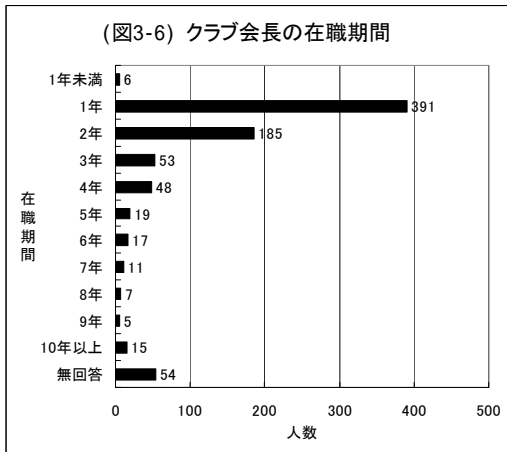
	会員数 (A)	クラブ数 (B)	1クラブ当たり会員数 (A)/(B)
男性	23,539人	815クラブ	28.9人
女性	30,155人		37.0人
計	53,694人		65.9人



(3) クラブ会長の状況

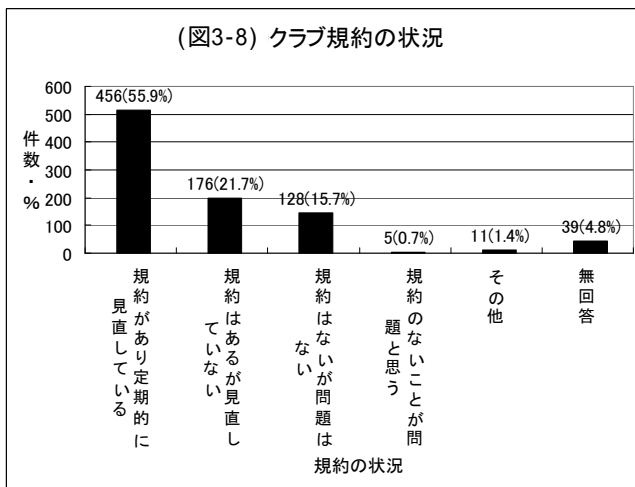
- 老人クラブの会長は、性別では圧倒的に男性が多い。
- クラブ会長の年齢は、70～74歳が最も多い。
- クラブ会長の在職期間は「1年」が最も多い。一方、クラブ加入年数で見ると、5～15年の経験豊かな人が会長に就いている。





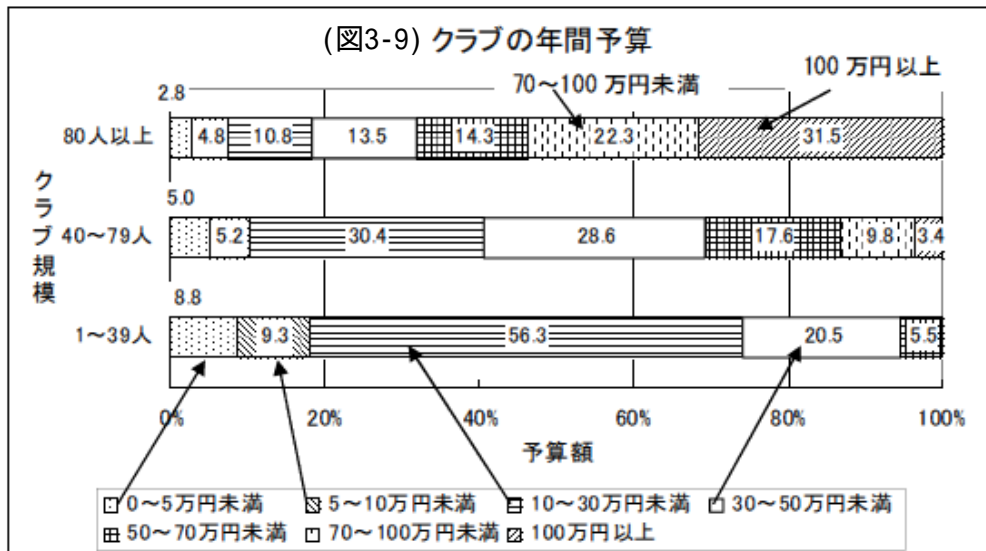
(4) 規約・広報の状況

- 「規約があり定期的に見直している」と回答したクラブは 55.9%。「見直しをしていない」、「規約がない」クラブは 38.1%。
- クラブの広報紙を「発行している」と回答したクラブは 19.1%。



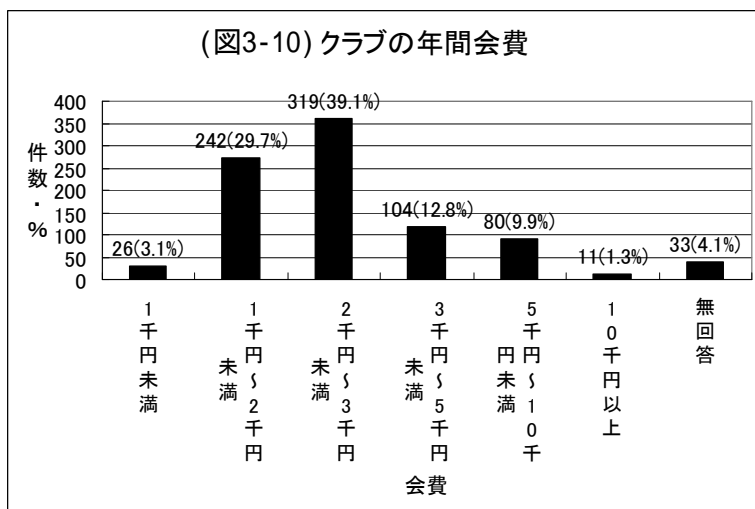
(5) 年間予算の状況

● 年間予算は、小規模クラブは「10万円～30万円未満」が多く、大規模クラブは「70万円以上」が多い。平均年間予算額は36.4万円。



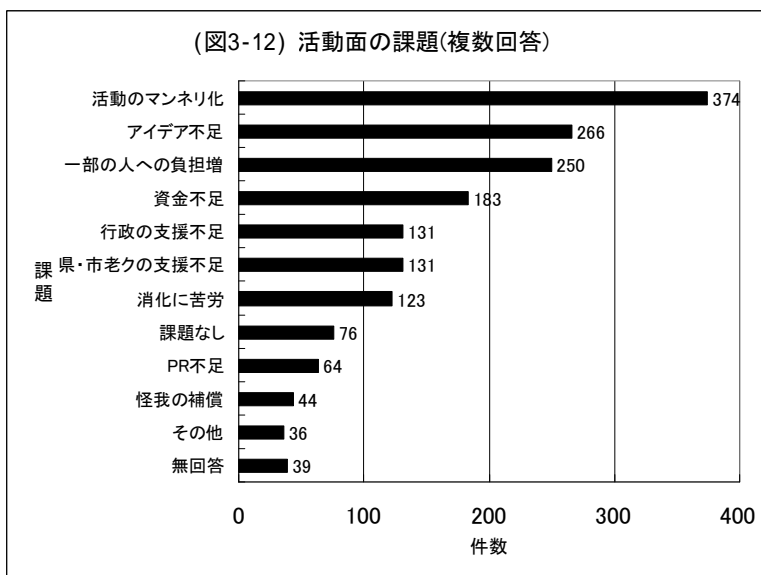
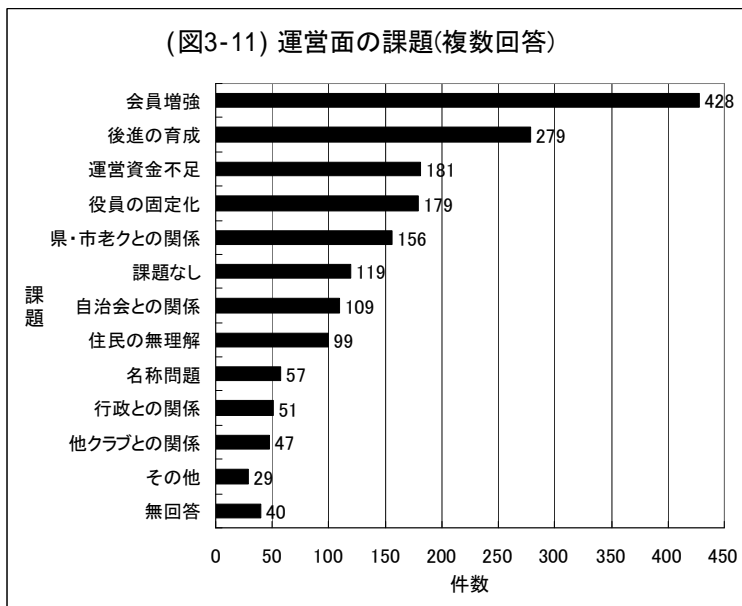
(6) 年会費の状況

● クラブの年間会費は、「2千円～3千円未満」が最も多く39.1%。続いて「1千円～2千円未満」が29.7%。



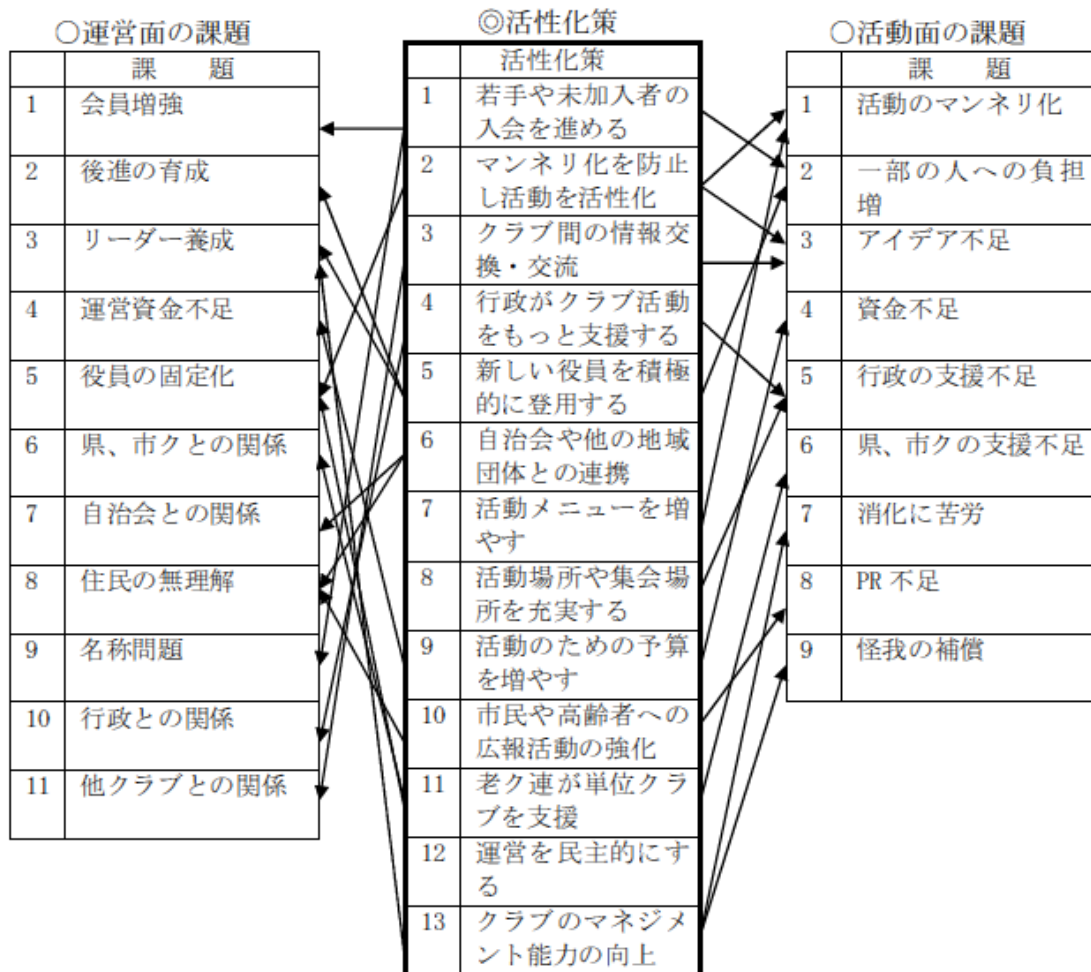
(7) 運営面・活動面の課題

- 運営面の課題は、会員の減少傾向を反映して「会員増強」がトップで、以下「後進の育成」、「運営資金不足」、「役員の固定化」が続く。
- 「名称問題」については、運営面での大きな課題としては取り上げられていない。
- 活動面の課題は、「活動のマンネリ化」と「アイデア不足」。一方、活性化を図る上での課題となる「一部の人への負担増」、「消化に苦勞」の声も多い。
- 「課題なし」と答えたクラブが1割程度ある。



◎単位老人クラブの運営面・活動面の課題と会員への「活性化策」アンケート結果との関係

- クラブ会員に聞いた活性化策と単位クラブに聞いた運営面や活動面の課題が、順位は前後するもののほとんどの項目で一致している。
- 老人クラブの活性化のためには、老人クラブが抱える運営面や活動面でのそれぞれの課題の克服が何より重要であることが分かる。



注1：真ん中の表の「活性化策」は、老人クラブ会員へのアンケートで「今後、老人クラブの活性化のためにどのようなことが必要か」と聞いた主要なものを上位から順に並べたもの。
 注2：左右の表は、単位老人クラブに運営面と活動面の課題を聞き、それを上位から順に並べたもの。